



希望を胸に新たな学び舎

★江差小学校新1年生入学式

ここに
注目!!

一般会計56億9,510万円を可決

令和3年第1回定例会が3月10日から11日まで行われ、令和3年度各会計予算、各種条例改正、補正予算など、提案された案件を審議し、全て原案通り可決しました。

また、5人の議員が一般質問を行い、さまざまな観点から町政に問いかけました。



令和3年度 一般会計予算 総額56億9,510万円を可決

感染拡大防止対策を図りながらも
経済を停滞させないように、総合的な施策を展開

町政執行方針

令和3年度は2期目の集大成の年。「誇りある暮らしを未来へ紡ぎ、みんなで作る自分たちごとのまちづくり」を、江差に思いのあるすべての方々と共にしながら、「すべての子どもたちが夢を描ける元気なまち」「すべての町民が安全安心な暮らしを送ることができるまち」「すべての事業者と労働者が未来に希望を持って働くことができるまち」をつくっていく。江差を愛するあらゆる皆様の「英知」を結集させ、コロナ禍という「逆境」を全身全霊で乗り越え、江差の明るい未来を切り開いていく覚悟。

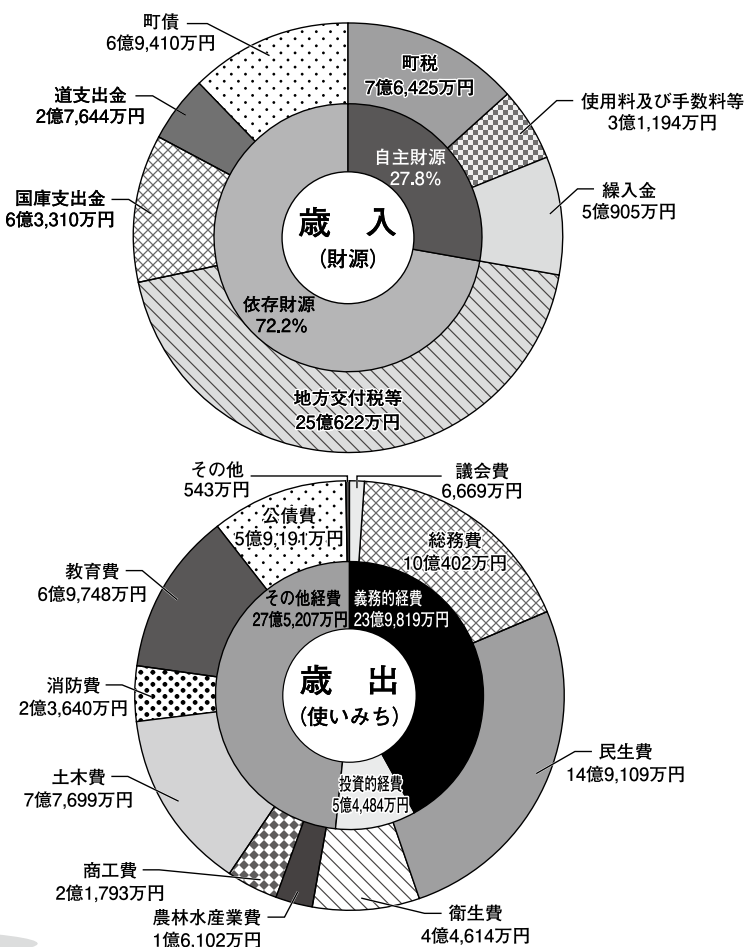


執行方針を表明する照井町長

主要施策

- ・不幸ゼロのまちの実現
- ・産業基盤の維持・強化のまちづくり
- ・地域を支える社会基盤の整備
- ・期待と信頼の組織づくり

令和3年度一般会計予算の割合



令和3年度一般会計は 対前年比で6.9%増

令和3年3月定例会を、3月10日開会し、令和3年度予算を中心に、条例改正や補正予算など、提出された議案を慎重に審議しました。全て原案通り可決し、効率的な議会運営、審議を行った結果、会期を1日残し、11日に閉会しました。

予算の大半を占める令和3年度一般会計予算は、56億9,510万円と昨年度に比べ6.9%の増となりました。

歳入は、町税総額で2,661万円、3.4%の減、地方交付税は3,100万円、1.4%の減となり、引き続き厳しい財政運営となり、財政調整基金(積立金)を3億8千万円の取り崩しにより不足分が賅われます。

一方、歳出は、町道や公営住宅などの生活基盤整備事業や観光関連事業、地域づくり事業が予算化され、議員から進め方や今後の見通しなどについて質疑が行われました。

(主要事業は3ページ、予算質疑は4ページをご覧ください)

前年度の一般会計予算とどう変わったの？

北の江の島構想推進

335万円

整備済VRの具現化、まちづくりアドバイザーを活用し、協力企業を募る等の着実な推進を図る。

旧江光ビル跡地活用基本計画策定

1,118万円

中心市街地におけるコミュニティの拠点として整備するため、基本構想を立て基本計画を策定。

「かもめ島」活用観光振興

186万円

島上野外映画鑑賞機会を提供し、町民・キャンプ客・宿泊客の集客につなげる。

子どもの未来応援事業

432万円

要保護・準要保護児童生徒に対し、学習支援費用を助成。学習塾費用等1人月額1万円を上限に助成。

森林経営管理制度取組推進

383万円

森林経営計画作成や実行管理、森林整備計画作成や変更支援等の委託事業。森林環境譲与税基金充当。

持続可能な商店街づくり事業

340万円

愛宕及び法華寺通り商店街を重点地域に位置付け、各交付金等を上乗せして助成。

旧檜山爾志郡役所旧江差線展示新設

116万円

旧檜山爾志郡役所の江差町郷土資料館に、他の資料とあわせ一括して旧江差線資料の展示を新設。

農業競争力強化農地整備事業

1,370万円

水堀地区の用排水路の改修、ほ場の大区画や担い手への農地の集団化を行うもの。

江差1号井温泉用水中モーターポンプ分解点検

1,349万円

尾山町にある温泉用水中モーターポンプの分解点検修理、機器取替等。

普通河川豊部内川浚渫工事

1,250万円

豊部内川の水深が浅くなるのを防ぐため、底面の土砂等をさらって、取り除く工事。

町営住宅浴槽等設置

205万円

浴槽設備のない住戸を対象に、募集の際に浴槽・給湯設備を整備。

新規

増額

“古くて新しいまち江差”観光振興(地域DMO)

3,850万円 → 3,879万円

(一財)北海道江差観光みらい機構の運営支援及び観光情報発信強化等。

住宅リフォームプレミアム商品券発行事業補助

900万円 → 1,232万円

2.5%のプレミアムを付与した商品券の発行。
※3年度で事業終了予定。

江差町・上ノ国町学校給食組合負担金

5,885万円 → 2億6,756万円

令和3年度及び4年度は給食センター建築に係る負担金分が追加。

減額

北の江の島“魅力・賑わい”創出モデル

589万円 → 159万円

かもめ島周辺の活性化に向け各種事業を展開。旧寺子屋売店運営や恋する灯台PR推進など。

土地開発公社対策

3,478万円 → 17万円

令和3年度中に土地開発公社を解散するための諸手続き経費。

旧JR江差線資料展示室整備

121万円 → 51万円

旧JR江差線の資料を旧檜山爾志郡役所に統合して展示することから、7月閉鎖までの経費。

討論

本年度は少子高齢化、人口減少、財政健全化の大きな課題を抱えながら、新型コロナ対応をしなければならない。困難な状況下での予算編成は大変苦慮したと思う。町政執行方針の町政にのぞむ基本姿勢と予算編成方針、4つの主要施策の柱に強い意志が伺われる。新規事業では子育て支援事業の拡充。昨年度から各種計画がスタートし、本年度からは、北の江の島構想推進、旧江光ビル跡地活用、かもめ島活用振興の新規事業などの予算が計上されている。また、地域経済の振興、農業振興、水産振興等、産業基盤確立の予算編成もされ、限られた財源の中、新たな事業展開や課題解決に向けた積極的な取り組みがみられる予算であり評価する。

賛成

私はこちら考える



西海谷 望 議員

予算質疑 令和3年度事業について意見！慎重に審議しました！

限られた財源の中で、どのように財政運営が行われているか。
本会議上での予算案への質疑等について、その一部を要約しご紹介します。

旧江光ビル跡地調査

慎重に対応する

Q 旧江光ビル跡地のボーリング調査、地盤調査をやるとあるが、何メートル掘るのか。建物の想定内容により変わるが。

A 慎重に対応していく。



訪問介護員確保支援策を

意見交換等し改善

Q 訪問介護員の確保支援策を検討すべき。また、業務量が増え、厳しい経営状態がつづいているが、どう把握しているか。

A 事業所と意見交換等をし、改善を進めたい。

合併浄化槽への転換を

下水道事業推進を優先

Q 下水道の接続率は低い。将来展望として合併浄化槽に転換すべき。

A 下水道認可区域の整備が少し残っており、事業推進がまず優先される。

漁業増養殖の考えは

ナマコに力を入れている

Q 漁業の増養殖事業の町としての基本的な考えは。

A ナマコは非常に高値。資源管理し力を入れることに対し、町も支援していく。

旧 J R 江差線資料展示廃止

統合により充実した展示を

Q 旧 J R 江差線資料展示館廃止は、檜山爾志郡役所での展示室があるからという理由だけか。

A 統合することで充実した展示が望め、かつコストダウンが図られるため。



観光みらい機構の自走化は

今しばらく時間がかかる

Q 北海道江差観光みらい機構は社団法人であるが、補助金を減らす努力をすべき。自走化に向けた見通しは。

A 自走化には今しばらく時間がかかる。

第一回臨時会

2月19日に第1回臨時会が行なわれ、一般会計の補正等について審議し、原案どおり可決、閉会しました。
内容は次のとおりです。

「一般会計補正予算」

◆飲食店等経営維持特別給付金事業

1,100万円
(全額一般財源)

厳しい経営の飲食店等に対し、特別給付金を支給。

◆新型コロナウイルススワフチン接種体制確保

287万1千円
(全額国庫支出金)

ワクチン接種券発行業務等に係る経費。

◆キャッシュレス決済導入支援

613万8千円
(国庫支出金他)

事業所へ配布する端末機器代金等の支援。

◆かもめ島上老朽施設等解体

4,327万4千円
(全額一般財源)

島上の老朽した旧民宿施設及びトイレの解体経費。

第1回定例会 こんなことが決まりました！

補正予算

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業

◇農業経営次期作支援給付

910万円（全額国庫支出金）

今後の農業経営に不安を抱いている農業者に対し、臨時特別支援金を給付。

◇漁業者経営維持化安定対策

345万円（全額国庫支出金）

厳しい経営環境にある漁業者の事業継続を図るための緊急支援金を給付。

◇感染症対策等の学校教育活動継続支援

452万円9千円（国庫支出金他）

学校長の判断による、感染症対策や教職員の資質向上、消耗品や備品等を整備。

条例制定

◇江差町かもめ島交流拠点づくり基金の設置、管理及び処分に関する条例の制定

かもめ島の地域固有資源保存活用を図り、交流拠点づくりを推進するための基金を設置。

◇指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準及び指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準等の一部を改正する省令の一部改正する省令の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定

国の省令改正に伴う条例の改正。

その他

◇江差町財政調整基金の処分

一般会計の財源不足を補てんするため、財政調整基金（積立金）を処分するもの

◇江差港港湾区域内公有水面埋立に係る意見

埋立免許の出願に係る意見について、異存がない旨を答申するもの

◇町道路線の廃止

南が丘歩道橋通りを廃止するもの



歩道橋撤去跡

◇工事請負契約の締結

陣屋・円山地区町有地法面崩落防止工事

◇新型コロナウイルスワクチン接種体制確保

3,087万3千円（国庫支出金他）

人員体制確保、住民周知、接種記録システム、接種会場等に係る経費。

◇生活交通バス路線維持費等補助

129万4千円（全額一般財源）

函館バスへ生活路線維持のために補助。

◇江差町かもめ島交流拠点づくり基金積立

500万円（全額その他特定財源）

ふるさと納税された全額を積立。

◇養護老人ホーム入所措置

762万6千円（全額一般財源）

入所者の増加に伴う増額。

◇社会福祉法人が行う利用者負担軽減事業補助

560万6千円（道支出金他）

低所得者や生活保護受給者等の訪問介護等利用者の負担軽減を図るもの。

◇介護保険特別会計繰出金

755万7千円（全額一般財源）

介護保険利用人数、回数の増減による特別会計への繰出金の増額。

◇子ども発達支援推進

317万2千円（全額一般財源）

江差町利用者増等による上ノ国町子ども発達支援センターの運営負担金の増額。

条例改正

◇重度心身障害者及びひとり親家庭等医療費の助成に関する条例の一部改正

◇江差町国民健康保険条例の一部改正

国の法律改正に伴う条例の改正。

◇江差町介護保険条例の一部改正

介護保険料の改定に伴う条例の改正。

◇江差町医師研究資金貸付条例の一部改正

法律の期限切れに伴う条例の改正。

人事

◇固定資産評価審査委員会委員の任命（再任）

阿部 世津子氏

（姥神町・70歳）



◇人権擁護委員候補者の推薦（再任）

中野 孝弘氏

（田沢町・48歳）



第1回定例会 行政報告

定例会で次のとおり、町長が行政報告をしました。



1 寄付採納について

- ・(株)スタートトゥデイ
代表取締役社長 前澤 友作 様
現金500万円（ふるさと納税として）



- ・第一生命労働組合函館営業職支部
執行委員長 佐々木 道也 様
紙芝居3冊組4セット（児童福祉推進のため）
- ・プリントプラザメモリー 新井山 信二 様
クリスマスながぐつおかし（保育園児のクリスマスプレゼントとして）
- ・(株)五勝手屋本舗 代表取締役 小笠原 敏文 様
現金10万円（図書館の図書充実のため）
- ・ASA江差朝日新聞専売所 所長 松崎 浩 様
図書10冊（図書館の図書充実のため）
- ・角田 トシエ 様、中屋 紀子 様
原野並びに山林（田沢1号線道路敷地等として）
- ・生活協同組合コープさっぽろ
理事長 大見 英明 様
交通安全ランドセルカバー50枚（新入学学童の交通安全のため）

意見書を提出

3月定例会では2件の意見書を提出し、すべて可決、関係行政機関へ提出しました。

- ◆悪質商法による消費者被害をなくすために、預託法の改正及び執行強化、並びに特定商取引法の改正、同法指針の改正及び執行強化を求める意見書
- ◆米の需給改善と米価下落の歯止め策を求める意見書

一般質問 五議員が町政を問う

議員にとって「一般質問」は、議場という公の場で、町長や教育長に対して町政運営の考え方や将来に対する方針を質することができる唯一の場です。

◆質問は要約されています◆

議会だよりのスペースの都合上、質問・答弁は要約したものを載せています。

◆表示の説明◆

文中の(問、再問)はそれぞれ再質問、再再質問を表します。



眞議員(無党派)

塚本

3月定例会 一般質問

新たなフレイル対策は 様々な工夫をし取り組む

答 介護保険が開始から20年を経過。団塊の世代が75歳以上になる2025年に向けて、いかに高齢者の健康寿命を維持し、介護に頼らない健康な生活を続けられるように支援していくかが重要。

介護保険料上昇を抑えることが大きな課題。既に新年度では介護保険料が上がる計画で、介護保険料の上昇を抑え、現行の事業を継続していくためには、フレイル対応強化が重要と考える。

町長 新しいフレイル対策があれば説明を。サツドラホールディングスと連携し、

介護支援専門員等を対象とした講座やまるやまトレーニングコーナーを活用したフィットネス講座を開催。

介護予防に対する興味関心を高め、自ら進んで身体運動に取り組み、成果を実感するよう工夫をしながらフレイル対策、介護予防に取り組んでいく。

再 集まってる介護予防が厳しい状況。コロナ禍でのフレイル対策があれば何う。

高野あしん課長 チラシ等での運動指導をしている。今年度は、各家庭においての運動に取り組む。



フレイル対策を周知するチラシ (出典：一般社団法人日本老年医学会)

旧江光ビル跡地活用は

答 議論を重ねたい

長年の懸案事項である旧江光ビル跡地の活用計画が動きだした。

町民の多くは、町財政等の厳しさもあり、大きな箱物の建設には否定的な意見が多い。江光ビル跡地活用に關する提言書も踏まえ、コンパクトで気軽に活用できる施設が望ましいと考えるが、町の基本的な考え方は。

町長 議会、商工会や地域、広く町民からの意見に耳を傾け、いかに敷地を有効に活用し、住民に喜んで活用される施設整備となる計画に繋げたい。

給食費の公会計導入を

答 移転改築に合わせ検討

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策等により、学校現場ではこれまで以上の業務の多忙が課題となっている。

従来は学校が進めていた給食費を、自治体の会計に組み入れる公会計化が進んでいる地域もあり、導入により未納者の回収率が向上した県もある。

学校現場の教育以外の事務作業の軽減に向けた給食費の公会計を導入すべきと考えるが、教育委員会の考えは。また、これまでの給

食費の未納額とこれまでの対応も何う。

教育長 教職員の負担軽減に、スクールサポートスタッフや学習指導員を配置しており、新年度も道教委へ申請している。

学校給食費を取扱っている江差町上ノ国町学校給食組合では、事務負担の軽減や事故防止の観点からも、対応すべき課題と捉え、見直しを検討している。給食費は、令和元年度末時点で72万6千円の未納。督促を行って



有効利用が望まれる旧江光ビル跡地

いるものの、未納額の解消には至っていない状況。

再 現在は税金をコンビニで納める時代。子ども達に現金を持たせ、先生が回収する作業は時代遅れ。

公会計化によりコストも非常にかかるが、このような先生方の業務を無くして頂きたい。**学校教育課長** 新たな給食センターができるタイミングに合わせ検討を進める。システム導入の費用対効果も検討課題。



小梅 洋子 議員 (無党派)

3月定例会 一般質問

観光客入込客数の集計方法は 答 集計方法には違いがある

昨年末に渡島檜山管内における上半期の観光客数が発表された。江差町58、800人、上ノ国町116、600人、厚沢部町272、500人、せたな町105、200人。江差は少ない。

新型コロナウイルスの影響で、江差三大祭りが中止となり、観光客数の減少は当然のことと理解できるが、コロナの影響はこの町も同じ。

江差町は日本遺産認定も受けて、多くの文化遺産や観光施設を有しながら、近隣町と比較してこの数字の差はどうなのか。あまりにも違う。正しい数字なのか。集計方法の違いなのか。

三大祭り以外のあり方を見直す必要があると思うが如何か。

町長 観光客入込調査は、各市町村により対象としている施設や集計方法に違いがあり、数値の増減は単純に比較ができない。当町は多くの観光施設

開陽丸の補修計画は 答 まずは劣化状況を調査

マストは最大風速何mに耐えられる構造か。耐えられる風圧は何トン位か。マストは多くのワイヤーに支えられている様に見えるが、ワイヤーが無ければ倒れるのか。ワイヤー無しの場合、耐えられる風圧は何m位か。建造時の設計段階でマスト及び船体、ボディーの鉄筋コンクリートの耐用年数は何年位を想定

していたか。当面の危険は無いにしても、外見の錆で見栄えは全くよくない。観光客からも不評。化粧直しが必要。補助金が増額されているが、幾許の補修を考えているか何う。

石綿の状況確認は 答 飛散の恐れはない

公共施設管理計画案

で、旧生涯学習センター解体の検討も盛り込まれていたが、未だそのまま。建築後50年以上経ち、閉鎖してからも14、5年経過し、長年の暴風雪にさらされ、劣化が進んでいる。健康被害をもたらす石綿の状態確認はされているか。飛散の恐れはないか。正しく防衛

されているのか。手立て、養生はされているか。報道によると、石綿で健康被害を受けた人たちが国に損害賠償を求めた訴訟で、最高裁は全額国の責任と認めた。解体は石綿被害に係る危険性を持つ工事なので、国の責任で行うよう強く要望、要請していくべきと思うが如何か。

町長 体育館天井の鉄骨にアスベストが使用

を行ない、必要な対策を検討する。

風速に対するマストの構造や船体の耐用年数等について、詳細なデータを持ち合わせてはいない。劣化状況調査を通して調査したい。

再 数年間は倒れる心配はないという理解が良いか。
まちづくり推進課長 今この風等で倒れるものではないと聞いている。建物は外観の痛みが一番激しい。

されているが、粉じんの飛散防止、損傷防止等のための板状の材料で完全に覆うことにより密閉する囲い込みをしており、飛散の恐れはない。



外観の痛みが激しい開陽丸



小野寺 真 議員 (日本共産党)

3月定例会 一般質問

PCR検査の幅広い実施を 効果的なやり方を模索する

町として、道南が一体として広い地域で感染が拡大している状況をしっかりと掴み、町内の医療介護従事者、入所者等の関係者に対し、PCR検査、早め早めに検査して幅広い検査の実施をして、感染症の拡大を防ぐ、江差町には感染者が一人もいない。そういう状況を作るべきだと考えるが、町長の見解は。

町長 PCR検査は、検体採取時点での感染の有無を確認する検査であり、陰性と保障される期間は1日だけで、費用対効果が低いという意見もある。

PCR検査は一定程度の感染拡大防止効果があるが、高齢者施設等に対する、より効果的な感染拡大防止対策を検討していく。

再 答弁は検査をしない理由を述べている。今それは学会等では少数派の意見である。検査は1回やればいいも

のではない。最低でも1週間に1回やらなければならず、莫大な費用になるがプール方式もしくは抗原検査等も駆使しながら、行政検査でやるべき。

医療介護福祉団体との懇談の中で、新規入所者だけではなく、医療介護従事者全職員の定期的なPCR検査の助成についてお願いする声もあった。

これへの回答は、医療介護従事者全職員の定期的なPCR検査の助成は現在検討中です。

町長は、どういう意味で現在検討中としたのか。先ほどの回答との整合性は。

町長 まちづくり懇話会が出された意見等も踏まえながら、どう効果的な対応ができるか考え、PCR検査というのも一つの選択肢として持っている。

今後状況を見ながら、効果的なやり方を模索し、検討していく。

災害危険区域を明らかに 危険個所の周知に努める

災害危険区域は、危険が著しく、災害防止に膨大な費用がかかる区域を地方公共団体が指定する区域のこと。町として、それがどこまで危険なのか必ずしも明確ではない。検討すべきではないか。

また、個別の区域が住民周知されていない。拡大図等の配布検討は、避難訓練等を継続的に開催する必要がある。町から強く要請し、一緒にやる努力をする必要があると考えるが。

町で厚沢部川の浸水ハザードマップを作るが、既にタイムライン(防災行動計画)がある。訓練はこれで出来る。検討すべきでは。

避難所運営マニュアルは町内会の協力が大前提である。説明会をやる事が急がれる。

避難所にはWiFi環境等が必要。

災害避難用テントは膨大な数が必要。国の三次補正等も使って十分な備蓄をすべき。

町長 役場内での横断的な連携、整合性を図りながら、継続的に検討していく。

全戸配布した江差町防災ハザードマップに、津波浸水想定区域等それぞれ掲載している。順次地区住民説明会を開催し、周知する。

来年度作成のハザードマップでは、更新可能なウェブ版も合わせで作成する。

防災訓練は、多くの地域で開催できるように呼びかけをしていく。今後も厚沢部川流域町内会においても訓練等の実施を検討する。

避難所運営マニュアルの説明会はしている

いが、防災訓練等の要請があった場合は、説明もしていく。

例としてインターネット環境と掲載している。全ての避難所に設備するものではない。

災害避難用テントの備蓄は、今後も計画的に整備する。

再 江差町3分の2位が未指定。いつまでに指定する計画か。

住民は特別警戒区域だと知ってるのか。そこが大事な問題。

総務課長 土砂災害警戒区域の指定は、函館開発建設部で令和3年度までと計画している。非常に多い調査箇所です、説明会が追い付かない状況。

再 東北各県で災害対応が素早いところは訓練をしっかりとやっているところ。この10年間の教訓とし、是非やってもらいたい。

副町長 マニュアル作成した立場であり、実のあるものにしていく。



飯田 隆一 議員 (無党派)

3月定例会 一般質問

不幸ゼロの町の役割体制は

答 課題を共有し解決へ

令和3年度は照井町政2期目の集大成の年。不幸ゼロの町とは、

格差を生み出す要因を取り除き、誰もが望まない苦しみをゼロにし、地域で安心して暮らすための施策であると、町政執行で述べている。

不幸ゼロの町実現に向け、今年度の状況と新年度における行動指針、特に行政と住民、各団体との役割体制を伺う。

町長 不幸ゼロの町の実現とは、誰もが望まない要因の苦しみをゼロにする取り組みで、自殺者ゼロから不妊治療困難者ゼロまで、9つのゼロ化の取り組みがある。アクションプラン、行動指針の行政と住民、各団体の役割体制は、9つの取組について、5課にまたがり、それぞれの各計画や各団体設置要綱などにより、不幸ゼロのまちの実現に向けて、行政と住民、各種団体が課題

月替わりイベント事業の内容は

答 切れ目ない商業振興策を

町内小学生の提案により、月替わりイベント事業の展開をあげている。事業の内容と今後の展開を伺う。

農漁業の体験型観光は期待の大きい事業。これからの事業事例と今後の経済効果は。

町長 持続可能な商店街づくり事業と地域産品営業プロモーション推進事業を制度設計。

北海道文化財横山家の再開は

答 早期解決を望むもの

これまでどのような横山家との経過、話し合いがあったのか。今後の対応を伺う。

閉館が続けば、日本遺産認定の継続にも影響が出ると危惧するが、その認識は。

教育長 昨年9月に条件付きで無償譲渡したイト手紙を頂いたが、10月に兄弟間で一部疑義が生じたとの連絡があった。町教委としては、早

つく取り組みに繋げる。



中心市街地で開催の軽トラ市

を出すべき時期だと思いが如何か。

日本遺産認定取り消しは大きくは心配していないが、拠点の横山家がこのままの状態では影響がある。それらを含めて整理する時期である。

追分観光課長 横山家の状況一つで認定の取り消しはないと考える。**教育長** 文化財を預かる教育委員会責任者として解決に取り組む。



室井 正行 議員 (自民党)

3月定例会 一般質問

北の江の島構想とは何なのか

答 議会とも協議し形成

総務産業常任委員会と特別委員会の事務調査報告の中で提案を、どのように理解し、評価しているか。

委員会提案意見書を政策立案にどう反映、位置付けされたのか。

南埠頭用地を大胆に活用し、国道交差点改良事業と合わせて、周辺地区環境整備を新たに行うべきと提案したが、今現在の江の島構想とは少しかい離している部分があるとしているが、現在も同じか。では一体、江の島構想とは何なのか。単に



問われる北の江の島構想

賑いをつくるだけなのか。歴史性を深く考慮した構想、計画が見えていないが、今後どうするのか。

開陽丸周辺、かもめ島周辺での賑いを作り出す段階としているが、その後の経過と実績について伺う。

令和2年度末に、全体像を示す前に、議会とも十分意見交換するとしているが、今現在何もない。今後の方向性について伺う。

本年開催の全員協議会で、まちづくりアドバイザーの配置とあるが、知見を有しないアドバイザーなのか。

ゾーニングの確定とあるが、何を想定して、基本方針を定めるのか。想定される関係機関と書いてあるが、現時点での想定は。

令和4年度に基本設計の策定とあるが、全体像が無くて何を想定しているのか。

町長は夢のあるかもめ島周辺を作っていく

たいと明言している。夢を描くには物語が必要。物語のない夢であるか。誰がプロデュースし、まとめるのか。

当て職的な委員会でなくてと12月議会で質問したが、木の木っ端で鼻かんだような答弁しかない。

議員として手伝いたいというのが私の考え。町長 多岐に渡っており時系列に答弁する。平成30年3月に構想を初めて示し、港湾道路の整備を先行し、南埠頭用地の利活用は今

後の検討としていた。町は、議会の意見後の江差町総合計画等特別委員会において、南埠頭もゾーニング案に加えた構想に関する基本的な考え方を示しており、委員会意見を参考とさせて頂いた。

現構想は、この間の意見も参考とし、令和3年度中に改定する。全体構想を検討しつつも、当面の方針は、

かもめ島周辺の整備を優先して進める。

施設機能並びに整備後の運営支援をサポート頂ける可能性を探るべく民間企業と協議を進めており、相手方と合意し、整備方針イメージをもちながら住民の意見を聞き、議会とも協議し形作っていく。

総務産業常任委員会の全体構想図の提案と町として見直したゾーニング案とは基本的に大きく変わるものではない。

旧カネマツビル跡地活用策は

答 道とも情報共有し対応

全議員構成による事務調査報告で、江差警察署の所在地の諸課題の解決対応に、江差町として最大限支援すると同時に、行動するべきと意見に付している。今現在の内容があれば答弁を求めたい。町長 中心市街地にお

どこから、どんな機能を持った施設をどのように整備していく方針なのかを、令和4年度に手掛けたいと、総合計画の実施計画に掲載している。

かつして議員の考えと反したのではない。再 ぜひ道の駅と海の駅と合体した物を作りましょう。日本で初めてではないか。南埠頭を活用して作るべきだと思いが如何か。

副町長 民間事業者の力を借りるために町長が奮闘しているところ。

ける課題の大きな一つとして認識しているが、同ビルは貸付金の債務が滞ったことにより抵当権が設定されており、利害関係が複雑な状況と聞いている。引き続き北海道などと情報共有しつつ対応を検討していく。

よりよい町づくりのために

総務産業常任委員会『町営住宅に関する事務調査』

総務産業常任委員会（西海谷望委員長）は、令和2年第1回定例会で事務調査をおこし、7回会議を開催し、担当課の説明を求めるとともに、現地視察を行い、調査をした結果について、次のとおり意見を付して報告した。

現在、本町では「江差町公営住宅等長寿命化計画（見直し版）平成29年3月」に基づき町営住宅の改善や修理を実施中である。

当計画は、平成23年度に策定され、計画期間10年間とし、その先10年を構想期間として、平成28年度に中間時見直しが行われている。そして、本年度がこの計画の最終年度に当たる。

この間、社会情勢は少子高齢化が進み、人口の減少も歯止めがかからない。町営住宅は老朽化が進み空き部屋が発生しており、一方限られた財源の有効活用という観点から、コンパクトなまちづくりも求められている。

については、当委員会では、現状の課題を把握するため事務調査を立ち上げ、町営住宅の在り方を考え、提言することとした。

調査の結果（課題と意見）

（1）町営住宅の課題

- ・多数の耐用年数を超えた老朽化した住宅があり、用途廃止や建替え予定が計画通り進んでいない。
- ・お風呂がない等、居住空間として問題のある住宅がある。
- ・フェンス等の外構が痛んでいる箇所が見受けられ、修繕維持管理が行き届いていない団地がある。
- ・空室が発生しており、管理上の課題解決に向けた取組みが必要なケースもある。



（2）町営住宅整備への意見

- ・建替えや住宅の集約においては、街の将来像を見据えたコンパクトなまちづくりを意識し、その時期等については現住者の要望にも配慮した計画で行うのが望ましい。
- ・耐用年数を超えた老朽化した住宅は、修繕を含めた早急な対応が必要である。
- ・室内の設備においては、健康で文化的な生活のための最低限度の設備を備えるべきである。
- ・団地敷地内において、安全で安心な生活のための外構の整備と日常的に維持修繕に努める必要がある。
- ・空室対応としては、公営住宅を必要とする町民の要望に沿った住居の供給に心がけ、入居条件の緩和についても検討すべきである。



担当職員から説明を受け現地確認しながら質疑応答

全員協議会を開催しました！

1月28日から3月4日までに開催した全員協議会について、その内容をお知らせします。

1月28日

- ・江差町・上ノ国町学校給食センター移転改築管理運営事業について
- ・新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業について
- ・江差町第6次総合計画に係る実施計画（概要）について

2月15日

- ・第8期高齢者福祉計画・介護保険事業計画の策定について
- ・北部農地基盤整備事業について
- ・江差町公営住宅長寿命化計画について
- ・江差町遊具整備方針について
- ・保育所給食費徴収について

2月19日

- ・かもめ島トイレ（島上）・炊事場等環境整備事業について
- ・旧花月・島上トイレ（2か所）の解体について
- ・追分カード・えさしポイントカード会のキャッシュレス化への支援について
- ・第3次地方創生臨時交付金事業について
- ・令和3年度江差町予算概要について
- ・令和3年度一部事務組合予算（案）について

3月4日

- ・旧江光ビル跡地活用事業基本構想（原案）について
- ・江差町議会会議規則の一部改正について



撤去予定の旧花月と公衆トイレ

出欠状況をお知らせします！

令和3年1月1日から3月31日の出欠状況です。斜線部分は出席する必要のない会議です。

会議名	会議日	総務産業常任委員会						社会文教常任委員会					議長
		西海谷望(委)	出崎太郎(副)	薄木晴午	飯田隆一	小野寺真	萩原徹	塚本真(委)	小林(三)(副)	室井正行	小梅洋子	大門和幸	
第1回定例会	3月10日	○	○	○	○	○	○	○	●(傷病)	○	○	○	○
	3月11日	○	○	○	○	○	○	○	●(傷病)	○	○	○	○
第1回臨時会	2月19日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
全員協議会	1月28日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	2月15日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	2月19日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	3月4日	○	○	○	○	○	○	○	●(傷病)	○	○	○	○
総務産業常任委員会	1月28日	○	○	○	○	○	○	△	△	△	△	△	
	2月19日	○	○	○	○	○	○	△	△	△	△	△	
議会広報特別委員会	1月14日	○	○	△	△	△	△	○	○	△	△	△	
	1月22日	○	○	△	△	△	△	○	○	△	△	△	
議会運営委員会	2月15日	○	△	△	○	○	△	○	○	△	△	○	
	3月1日	○	△	△	○	○	△	○	○	△	△	○	

○：出席 ▲：欠席（公務） ●：欠席（傷病・出産・育児・看護・介護・私用）

議会の動き

- 1月27日 ◆江差町・上ノ国町学校給食組合議会全員協議会
- 28日 ◆全員協議会（出席12名）
・江差町上ノ国町学校給食センター移転改築管理運営事業について
・新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業について
・江差町第6次総合計画に係る実施計画（概要）について
◆総務産業常任委員会（出席6名）
・町営住宅に関する事務調査
- 2月2日 ◆江差町・上ノ国町学校給食組合第1回臨時会
- 15日 ◆全員協議会（出席12名）
・第8期高齢者福祉計画・介護保険事業計画の策定について
・北部農地基盤整備事業について
・江差町公営住宅長寿命化計画について
・江差町遊具整備方針について
・保育所給食費誤徴収について
◆議会運営委員会（出席6名）
・第1回定例会の運営について
- 19日 ◆全員協議会（出席12名）
・かもめ島トイレ（島上）・炊事場等環境整備事業について
・旧花月・島上トイレ（2か所）の解体について
・追分カード・えさしポイントカード会のキャッシュレス化への支援について
・第3次地方創生臨時交付金事業について
・令和3年度江差町予算概要について
・令和3年度一部事務組合予算(案)について
◆第1回臨時会（出席12名）
◆総務産業常任委員会（出席6名）
・町営住宅に関する事務調査
- 3月1日 ◆議会運営委員会（出席5名、欠席1名）
・第1回定例会の運営について（2回目）
- 4日 ◆全員協議会（出席11名、欠席1名）
・旧江光ビル跡地活用事業基本構想（原案）について
・江差町議会会議規則の一部改正について
- 10日 ◆第1回定例会（出席11名、欠席1名）
- 11日 ◆第1回定例会（出席11名、欠席1名）
- 24日 ◆南部桧山衛生処理組合議会第1回定例会
◆江差町・上ノ国町学校給食組合議会第1回定例会
◆檜山広域行政組合議会第1回定例会
- 4月5日 ◆広報特別委員会（出席5名）
・5月号議会だよりについて（1回目）
- 21日 ◆広報特別委員会（出席5名）
・5月号議会だよりについて（2回目）

みんなの議会 傍聴しませんか
次の定例会は6月です。

日程は、町広報誌やホームページでお知らせします。

江差町議会本会議は、どなたでも傍聴することができます。

町民の皆様が選んだ議員の活動状況や、町政の方針などを議場で確かめましょう。

議会の傍聴は簡単で、都合の良い時間で傍聴できます。

皆様の傍聴をお待ちしております。

議会事務局職員人事異動

3月31日付で清水前局長が定年退職され、4月1日人事異動により、新たに町より出向の梅川局長が任命されました。

(新任) 梅川 年代

前歴：税務課長

高齢あんしん課長

ひのき荘荘長等



(退職) 清水 直樹

退職後、再任用として

出納係に配属



今号の表紙

☆新入生の皆さんおめでとうございます！

コロナ禍の中、色々な制約のある学校生活になると思いますが“コロナを乗り切った世代”として、遅く成長してほしいと願っています。

南が丘小学校新1年生入学式
(議会広報特別委員会委員 小林 くにか)

議会からのお願い 議会だより取材のため、議員が写真撮影に伺うことがあります。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

この用紙は、原材料の一部に
道産間伐材を使用しています